

UP! Uozumi-higashi Press

魚住東中トリプルD < Dream, Design and Do it >

2018.12.3(月) 第8号

時の経つのは思いの外早く…

とうとう12月、師走となりました

時間が経つのは本当に早いもので、早12月となりました。時間が早く感じられるのは、この類いのことわざが複数あることにも表れていますね。「歳月人を待たず」「少年老い易く学成り難し」「光陰矢のごとし」等々、先人も時間を有効に使うことの重要性を感じてきたということです。しかし、この時期に一年間の振り返りをする中で、時間を有効に使えなかったと反省することが多いのではないのでしょうか(私も反省しきりです…)。12月は一年の締めくくりの月。今年の元旦に立てた『一年の計』はどの程度実現できたでしょうか。できたこと、できなかったことをしっかりと点検・把握して、2019年に活かしていけるようにしましょう。



三年生のみなさんは年が明けると三学期は43日しか東中に登校する日がありません。後輩たちに「こんな先輩になりたい」という気持ちを植え付けて卒業する日を迎えるべく日々良いお手本になってくれることを期待しています。また、それぞれに夢と希望に満ちた春を迎えるために、最後の頑張りをする時です。進路実現のための力をしっかりとつけましょう。ここでの力とは「学力」に他なりません。わからないこと、できないことを明日に積み残さずに、その日のうちに理解するようにしましょう。そのために全ての先生方はみなさんに協力を惜しみません。全力でサポートします。先生方が困るぐらい、質問攻めにしてください。私も待ってますよ(因みに、私は英語科教師です)。

右の詩は、金子みすずさんの有名な詩「わたしと小鳥と鈴と」の一節です。

「鳥のように空を飛べたら…」と思ったことがみなさんにもありますよね。しかし、鳥にはないものをみなさんは持っています。すべての存在はそれぞれに価値があるということです。

地球上に存在する花がすべてチューリップだったら…。すべての花が赤い色だったら…。とつてもつまらない世界になってしまいます。人それぞれに「個性」があります。たくさんの「個性」があって、すばらしい世界が創られています。お互いの「個性」を尊重して認め合うこと。このことをみなさんが意識しながら毎日の生活を送ってくれることを願っています。

私と小鳥と鈴と
私が両手をひろげても、
お空はちっとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面を速くは走れない。
私がかからだをゆすっても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがって、みんないい。



ミニミニ英語知識	Christmas
12月といえば『クリスマス』ですね。 Christmas は Christ(キリスト) + mas(礼拝) キリストの降誕を祝う祭という意味です。 Christ の発音は「キリスト」ではなく [kraist](クライスト) なので間違えないように。	